

広島県 商工会地域

中小企業景況調査報告書

第185回

令和8年7～9月期 実績

令和8年10～12月期 見通し

令和8年9月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨	この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体内の約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象	(対象地区) 県内15商工会 祇園町、広島東、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、三次広域、備北 (対象企業) 231社 製造業56 建設業43 小売業68 サービス業64
3. 調査方法	経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間	令和8年7～9月期実績、及び令和8年10～12月期見通し
5. 調査時点	令和8年9月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運
- DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。

「横ばい」	0を基準に±2ポイント未満
「小幅、やや」	0を基準に±2～8ポイント未満
「大幅、大きく」	0を基準に±8ポイント以上

8. その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

- 中国経済産業局 (中国地域の経済動向)

<https://www.chugoku.meti.go.jp/toukei/keiki/keiki.html>

- 広島県 (広島県の産業経済動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/75/1244079054510.html>

1. 調査結果のポイント

(1) 全国のポイント

※(独)中小企業基盤整備機構「第185回(2026年7～9月期)調査結果のポイント」より

・中小企業の業況判断DIは、5期ぶりの上昇

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」(2026年9月1日時点)は、前期(2026年4-6月期)から3.2ポイント増(▲15.5)と5期ぶりに上昇。産業別では、建設業で6.9ポイント増(▲12.7)、製造業で6.3ポイント増(▲10.3)、卸売業で1.8ポイント増(▲13.4)、サービス業で1.5ポイント増(▲13.0)、小売業で0.7ポイント増(▲26.3)とすべての産業で上昇している。来期見通しは、建設業、サービス業以外の産業で上昇している。

・業況が改善した産業で人手不足感が強まる

「採算(経常利益)DI(前年同期比)」は、建設業で7.1ポイント増(▲25.2)、製造業で6.7ポイント増(▲15.2)と直近3年で最大の上昇幅となった。一方、「従業員過不足DI(前年同期比)」は、建設業で2.5ポイント減(▲3.6)、製造業で0.5ポイント減(▲5.2)と低下し、業況が改善した2産業で人手不足感が強まった。

・業況判断DIは九州・沖縄で低下、他地域で上昇

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」を地域別で比較すると、九州・沖縄地域を除くすべての地域で前期と比べて上昇した。一方、令和8年熊本地震が発生した九州・沖縄地域は、2.9ポイント減(▲19.2)と低下し、熊本県では、10.3ポイント減(▲30.4)と大幅に低下した。

(2) 広島県のポイント

・全国で業況が持ち直す一方、広島県は2期連続で低下

全産業の業況DI(前期比・季節調整済み)は、前期から0.8ポイント低下し、▲16.1となった。全国が3.6ポイント上昇して▲13.9となる中、広島県は2期連続で低下し、全国を2.2ポイント下回った。来期は▲15.2と小幅な上昇を見込むものの、引き続き全国を下回る見通しである。

・製造業・小売業で採算が改善するも、コスト負担は依然重い

商工会地域の売上額DI(前年同期比)は、製造業・建設業・小売業で前期から上昇し、サービス業は横ばいとなった。採算DIは製造業・小売業で大幅に改善した一方、サービス業では低下し、全業種でマイナスが続いている。仕入単価DIは全業種で低下したものの、なお高水準にあり、価格転嫁の難しさや人件費等の増加が収益を圧迫している。

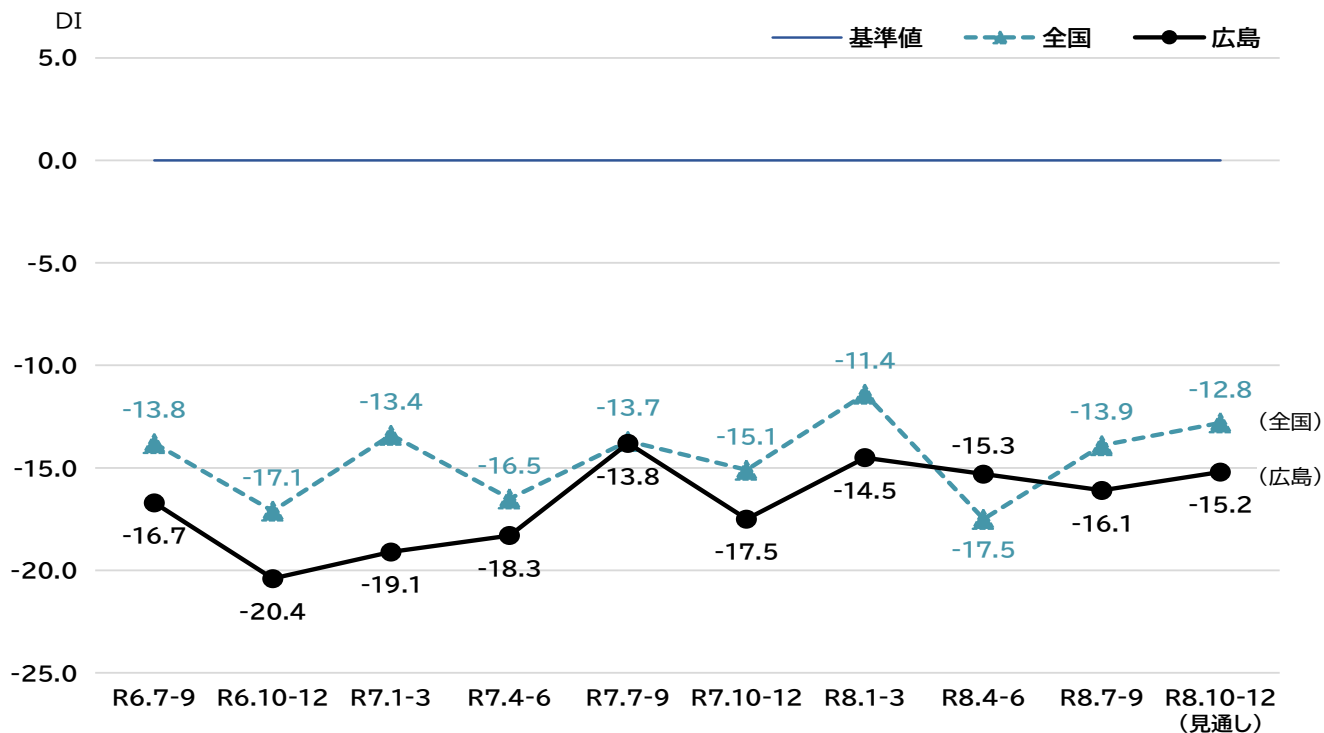
・来期の売上見通しは慎重、資金繰りにも厳しさが残る

商工会地域の来期の売上額DIは、製造業で上昇を見込む一方、建設業・小売業・サービス業では低下を見込む。特に小売業・サービス業は、それぞれ11.7ポイント、17.2ポイントの大幅な低下を見込み、先行きへの慎重姿勢がうかがえる。今期の資金繰りDIも製造業・建設業・サービス業で悪化しており、コスト上昇への対応と収益・資金の確保が引き続き課題となっている。

産業全体の概況

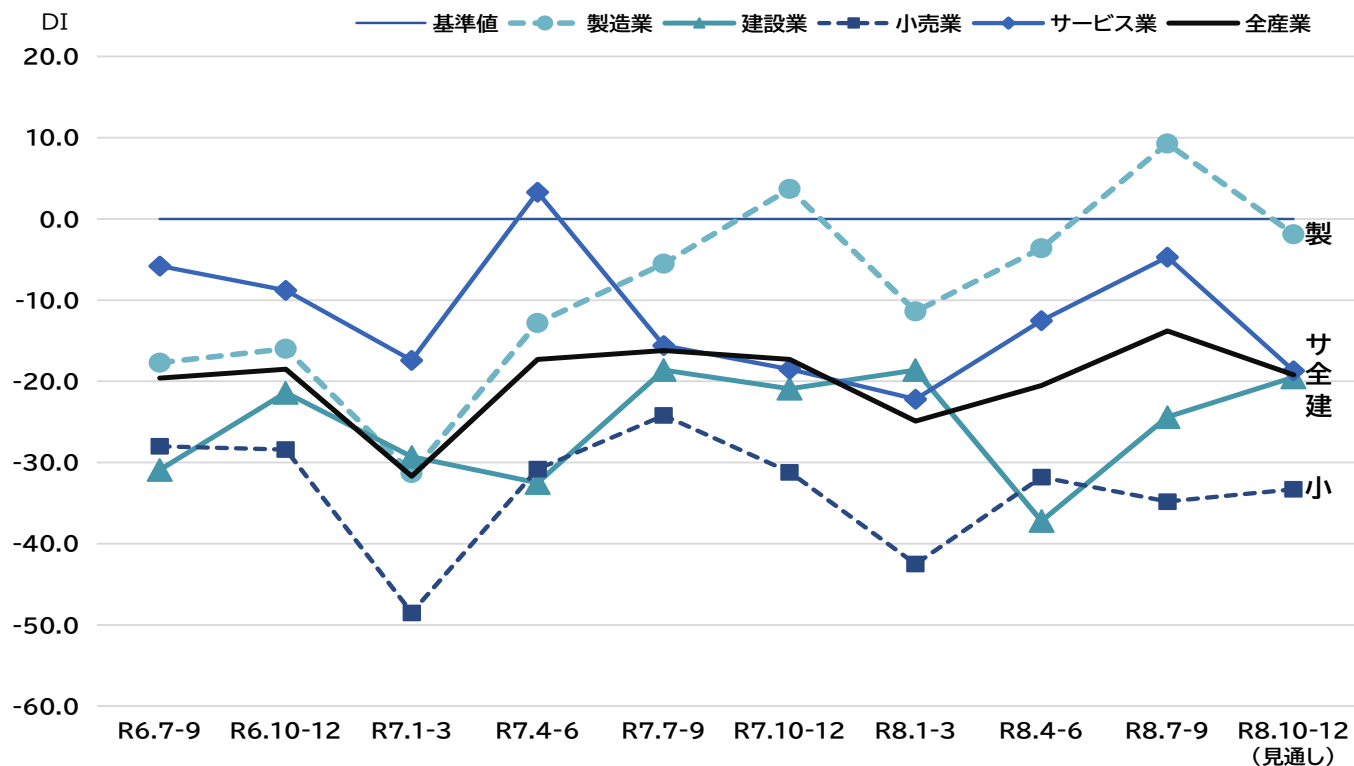
2. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県と全国(全産業)業況DI推移 - 前期比・季調済 -



3. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

広島県(産業別)業況DI推移 - 前期比・季調済 -



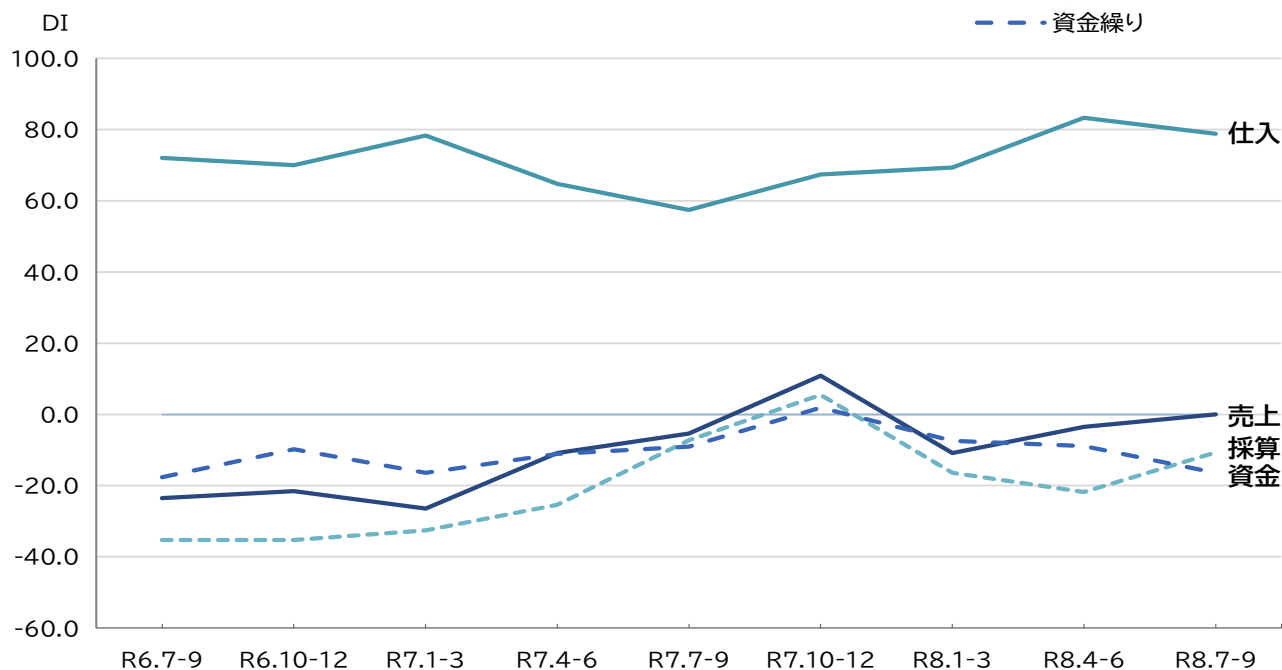
製造業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

製造業 DI	(前期)	(今期)		(来期見通し)	
主要項目	R8.4-6	R8.7-9	前期との比較	R8.10-12	今期との比較
売上額	-3.5	0.0	↗	5.3	↗
原材料仕入単価	83.3	78.8	↘	73.6	↘
採算	-21.8	-10.7	↗	-12.5	→
資金繰り	-8.9	-16.4	↘	-10.9	↗

広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

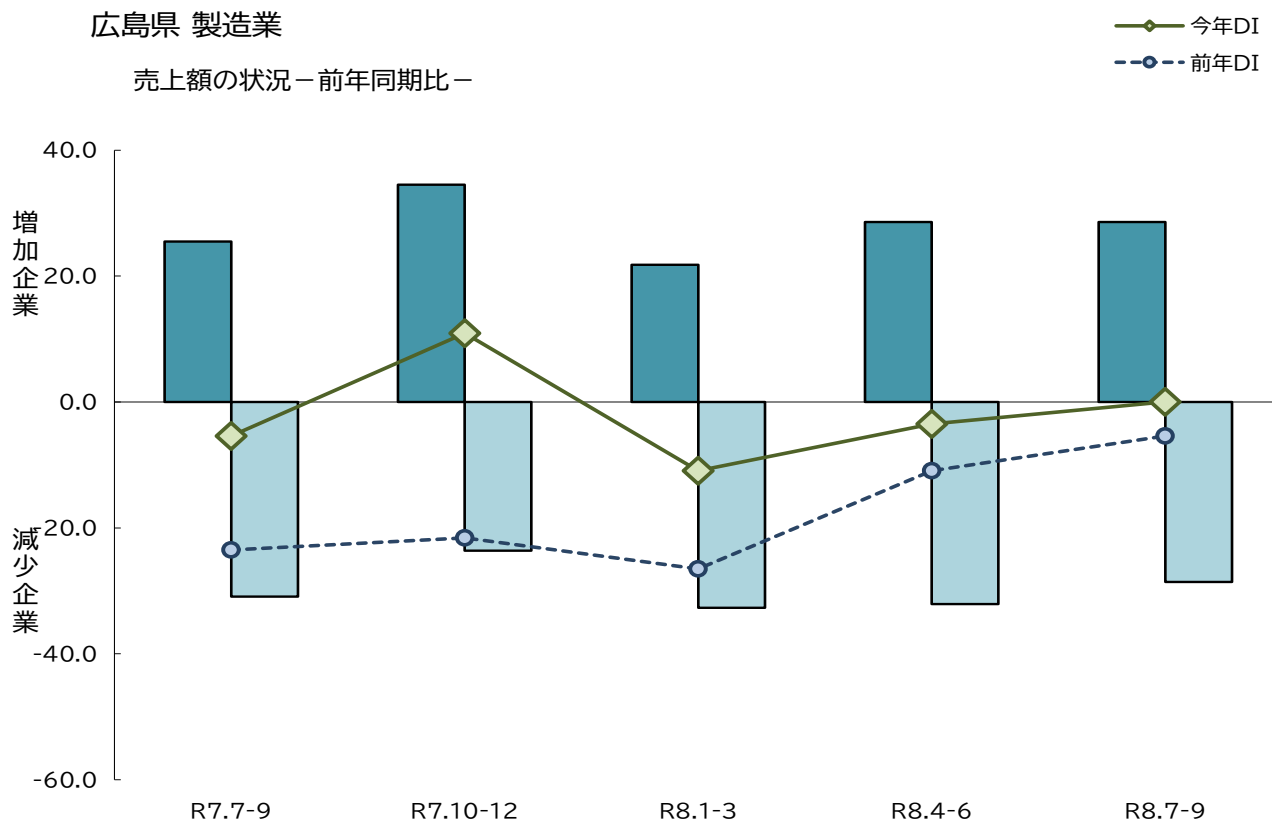
- ・ 仕事量は少し増加したが、安定したわけではない。月末にならないと次月の状況を把握できない。
- ・ 社会情勢による様々な物価高騰が続いていて、なかなか業況が上向きになっている実感が沸かない。また、例年よりも酷暑が多く、お中元等も厳しい状況だった。
- ・ 最低賃金の引上げで従業員の労働時間調整が事業に大きな影響を与えている。
- ・ 製品の売れ行きが極端に変動している。マスコミの報道に消費が敏感になっている感が強い。
- ・ 今期直面している経営上の問題点として、新分野事業の競争が増加していること、コスト上昇分の価格転嫁が追い付いていないことが挙げられる。
- ・ 原材料価格やその他の経費が少しずつ上昇して収益を圧迫している。10月より商品の価格を改定する予定である。これにより売上数量が少し減少するかもしれない。
- ・ 委託加工は低調ながら見積依頼が数件入り、好転の兆しがある。資材関係は例年通り順調。一部の製品は大きな競争ができたため、価格競争に不安有り。輸出の引き合いが決まり、また県外展示会に出展予定。

製造業（商工会地域）

2. 売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 製造業

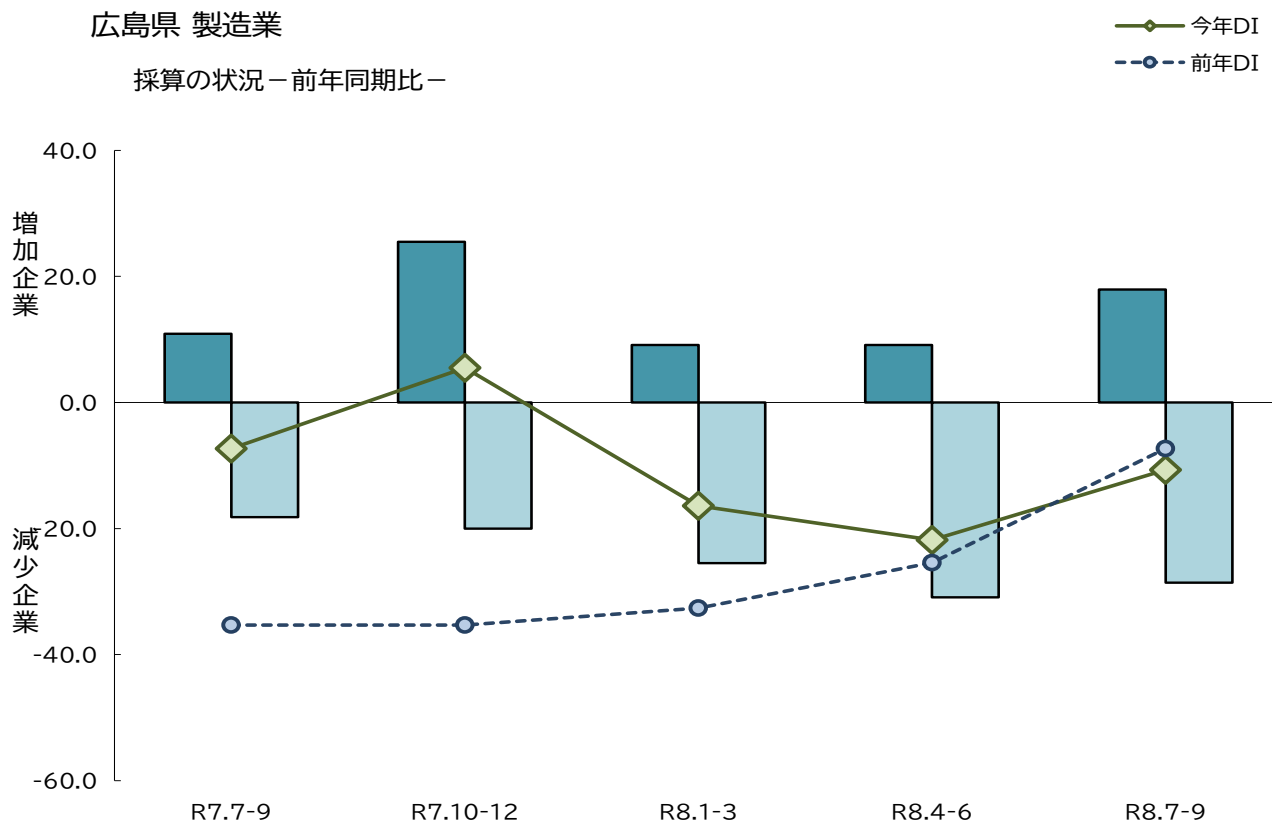
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

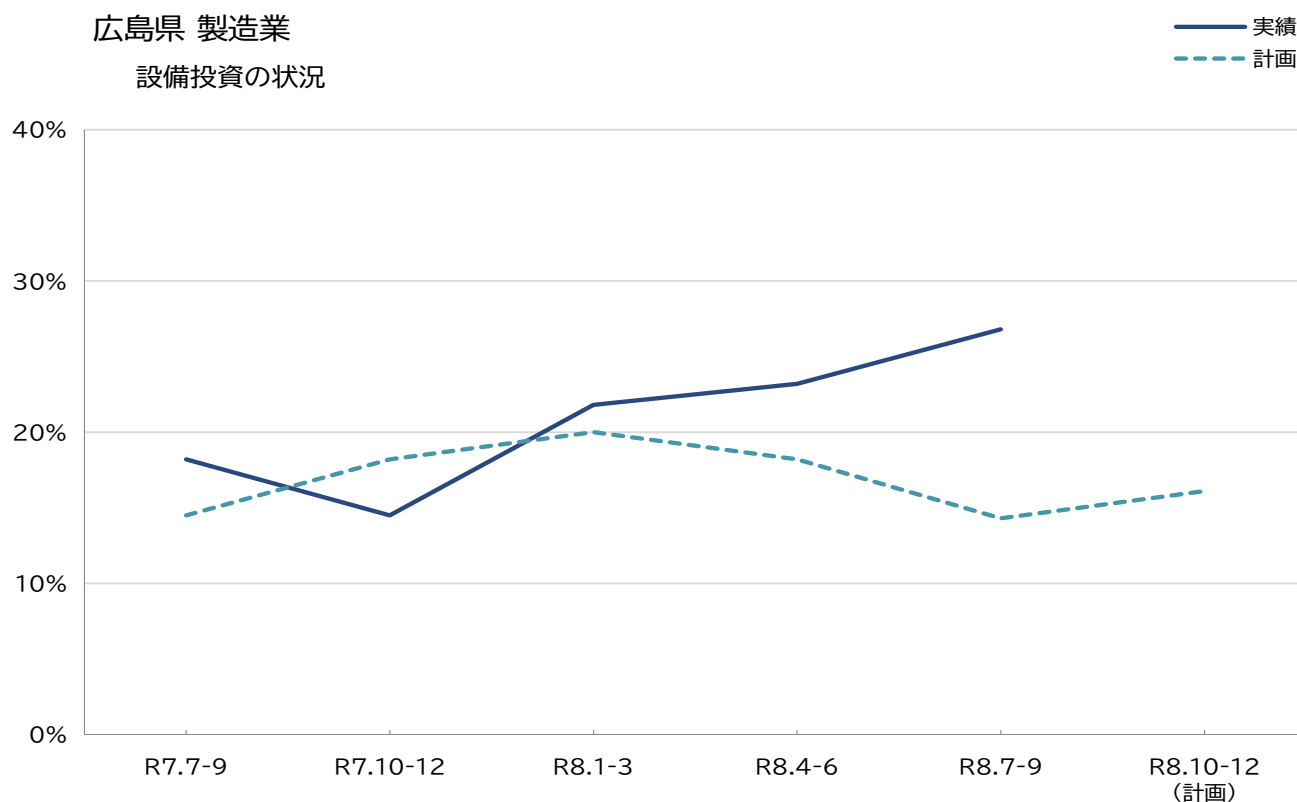
広島県 製造業

採算の状況－前年同期比－

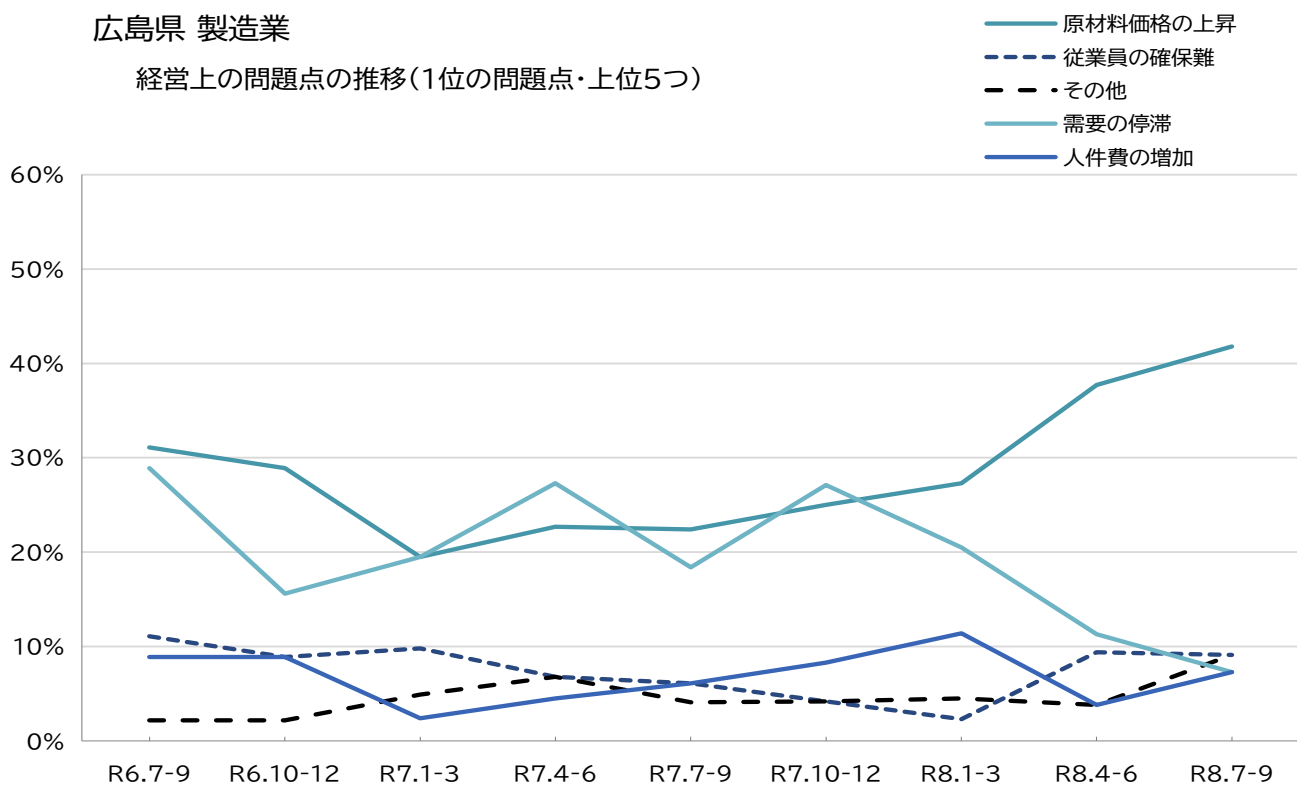


製造業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



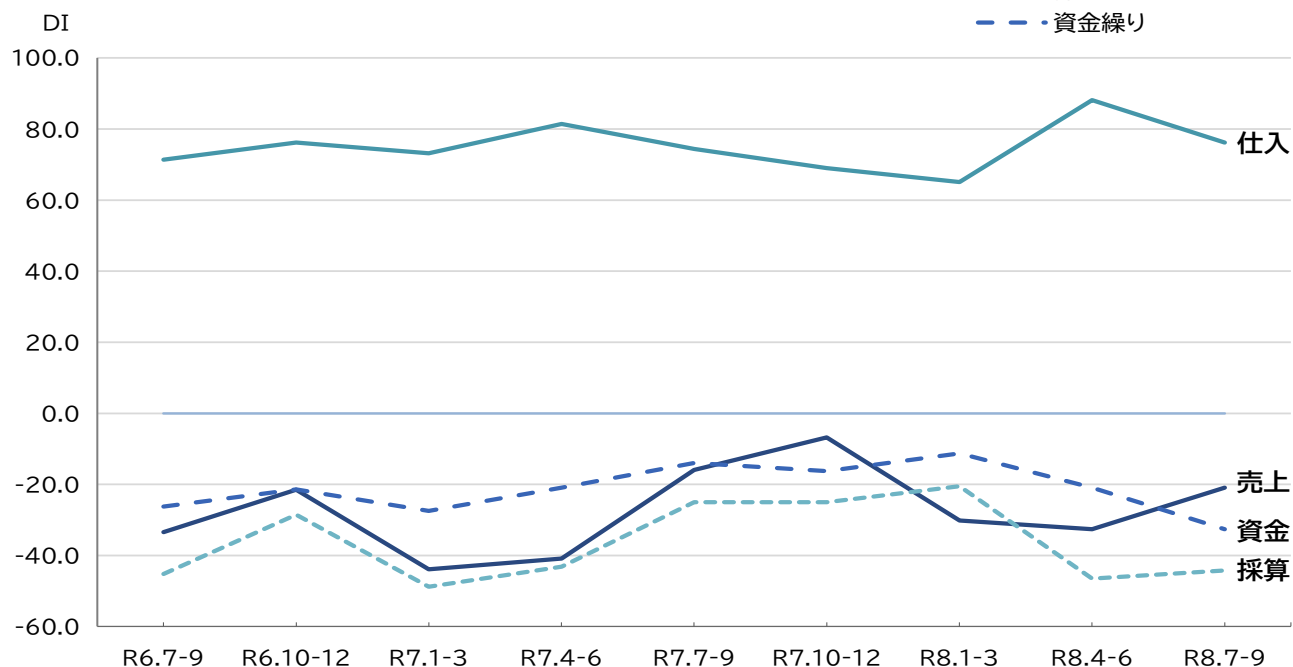
建設業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI	(前期)	(今期)		(来期見通し)	
主要項目	R8.4-6	R8.7-9	前期との比較	R8.10-12	今期との比較
売上額 (完成工事額)	-32.6	-20.9	↗	-23.2	↘
材料仕入単価	88.1	76.2	↘	66.6	↘
採算	-46.5	-44.2	↗	-32.6	↗
資金繰り	-20.9	-32.6	↘	-30.2	↗

広島県 建設業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

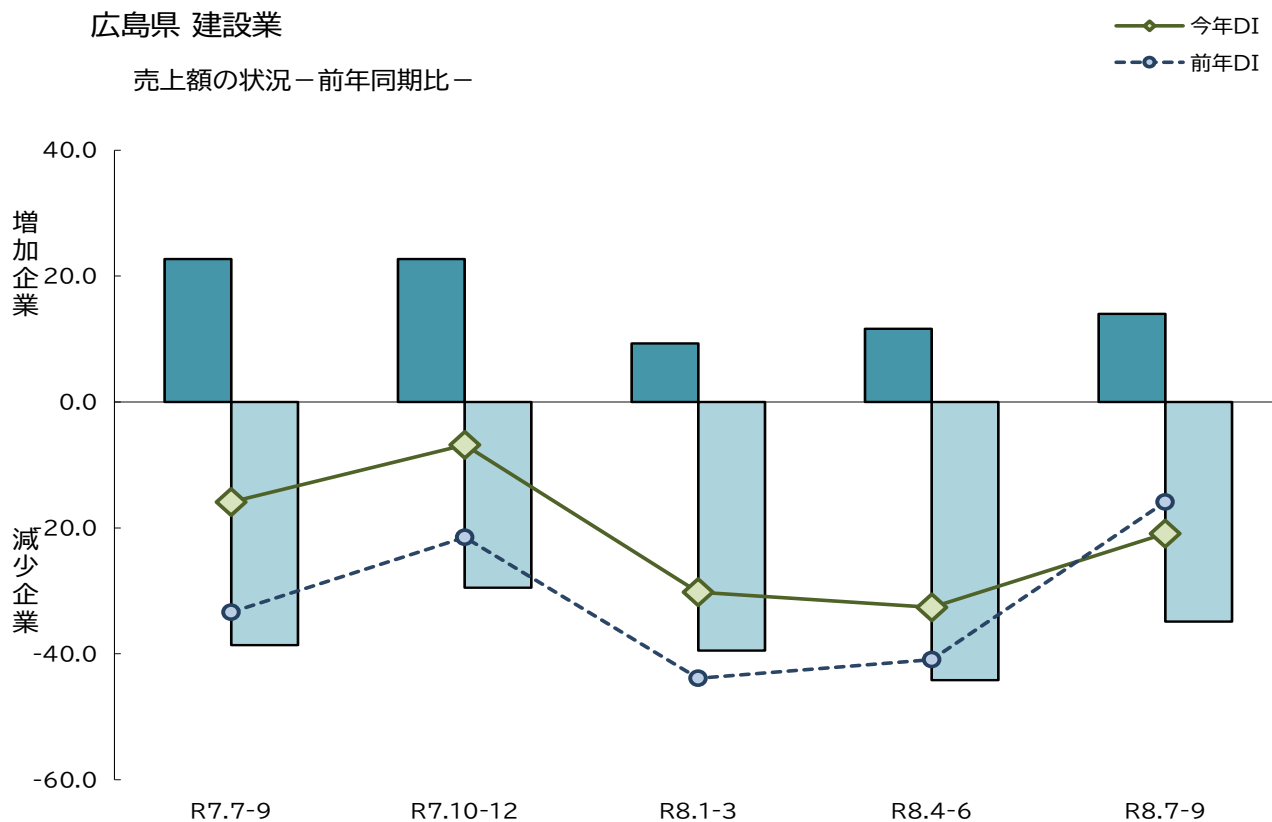
- ・ 材料費の上昇分は価格に転嫁できているが、日当に相当する部分の値上げ交渉が困難な状況が続いている。
- ・ 材料費仕入れ高騰の上、販管費等が増加しており経営を圧迫している。
- ・ 今のところ品物は、入って来ているが価格は上がるし受注が少ないので不安を感じます。
- ・ 現在の状況へは時間と共に対応できるようになったが、将来の見通しが明るくないため常に不安である。
- ・ 材料価格の上昇で新築が建たない
- ・ みなさん財布のひもが固いです。
- ・ 前、前々期の業績不良は、事業主の傷害によるもので、同業者同志の連携が重要であることを感じたところですが、高齢化と共に消滅した業者が非常に多いことも通感しました。

建設業（商工会地域）

2. 売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

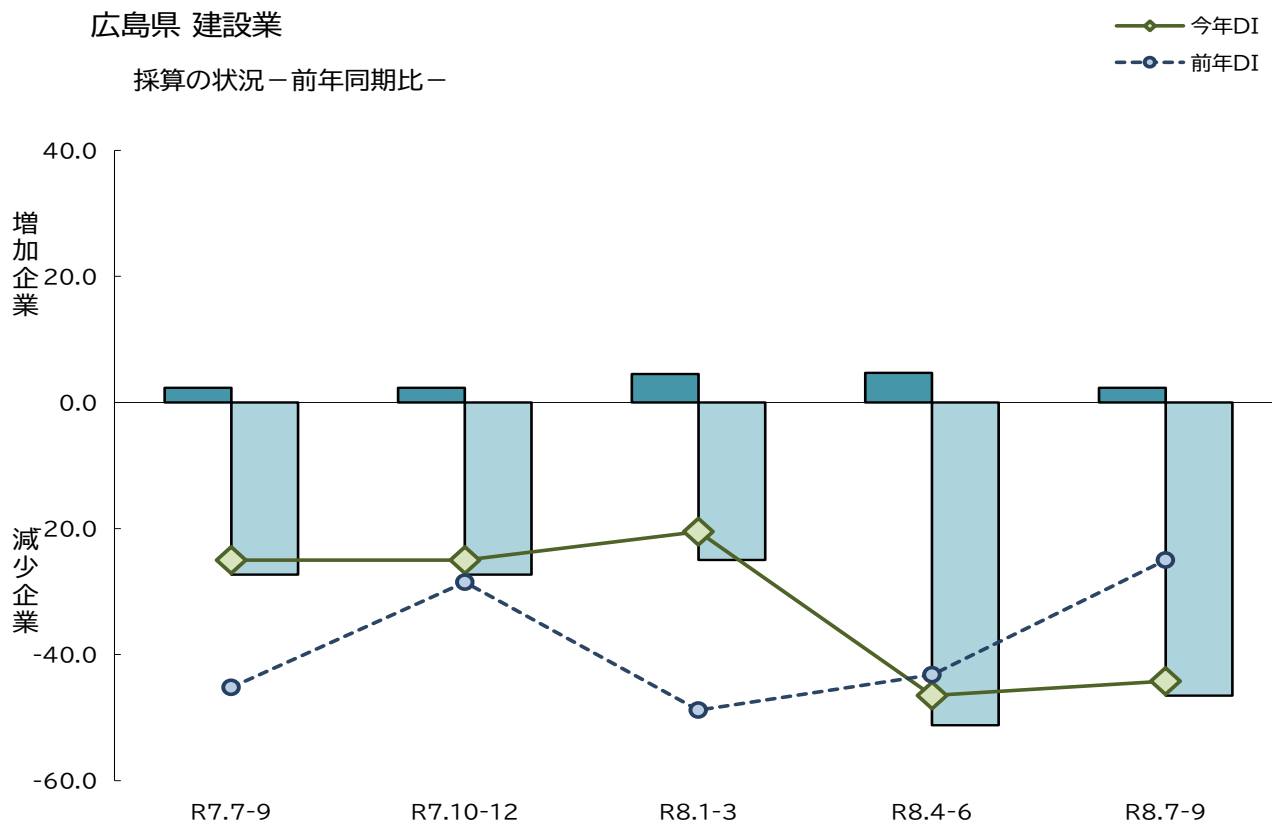
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

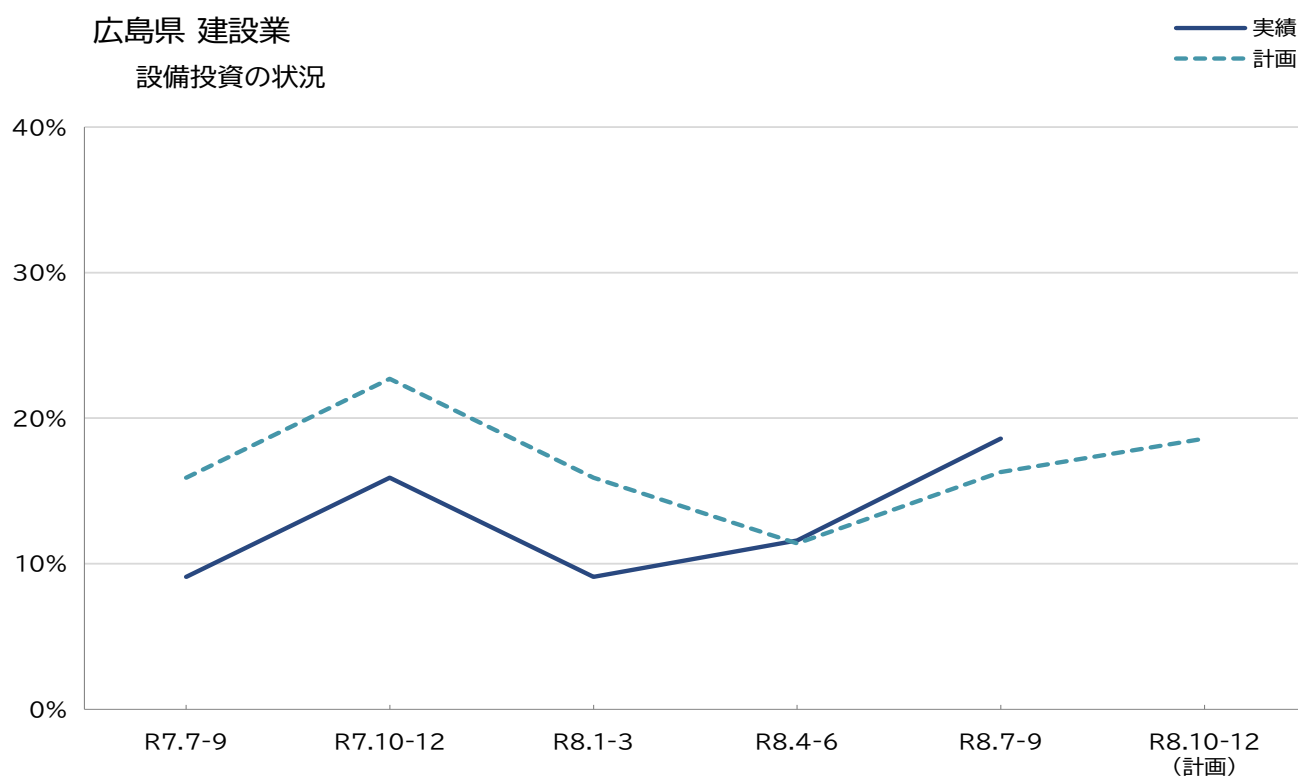
広島県 建設業

採算の状況－前年同期比－

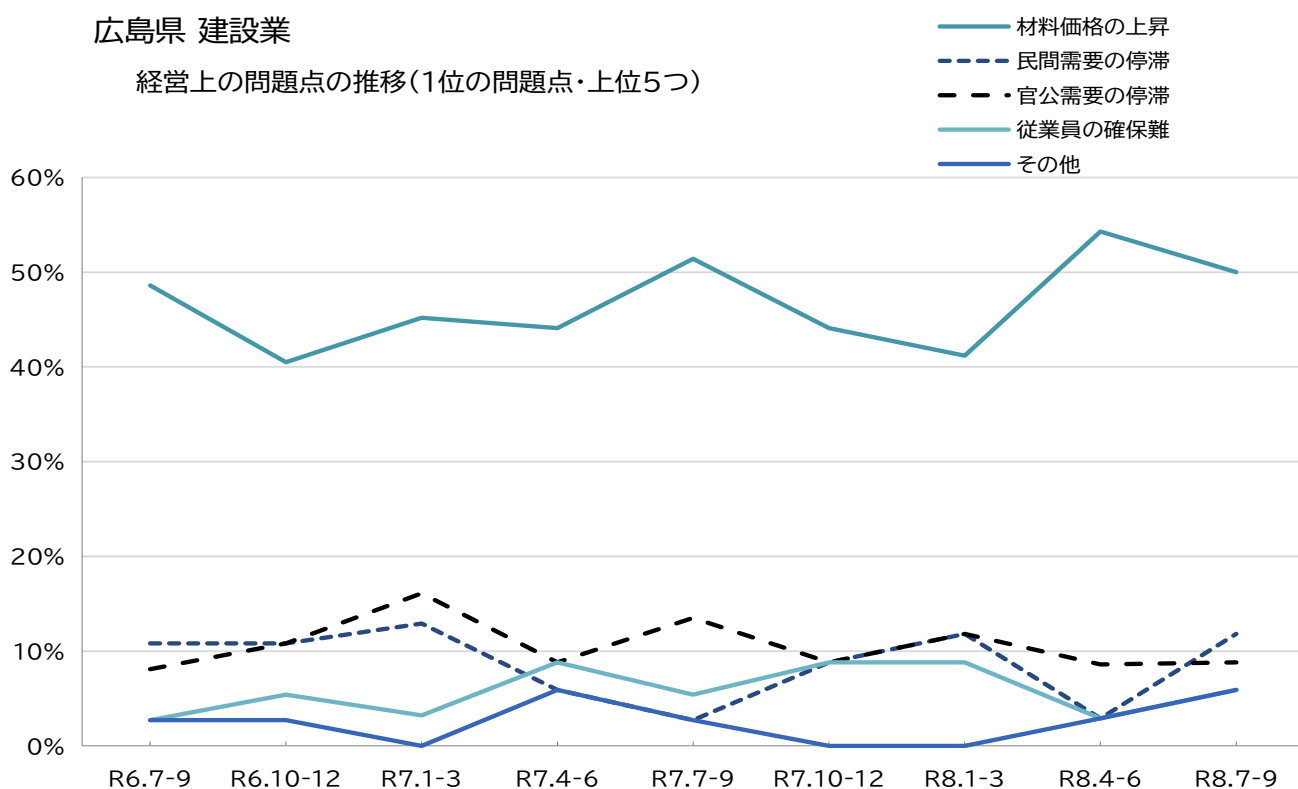


建設業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



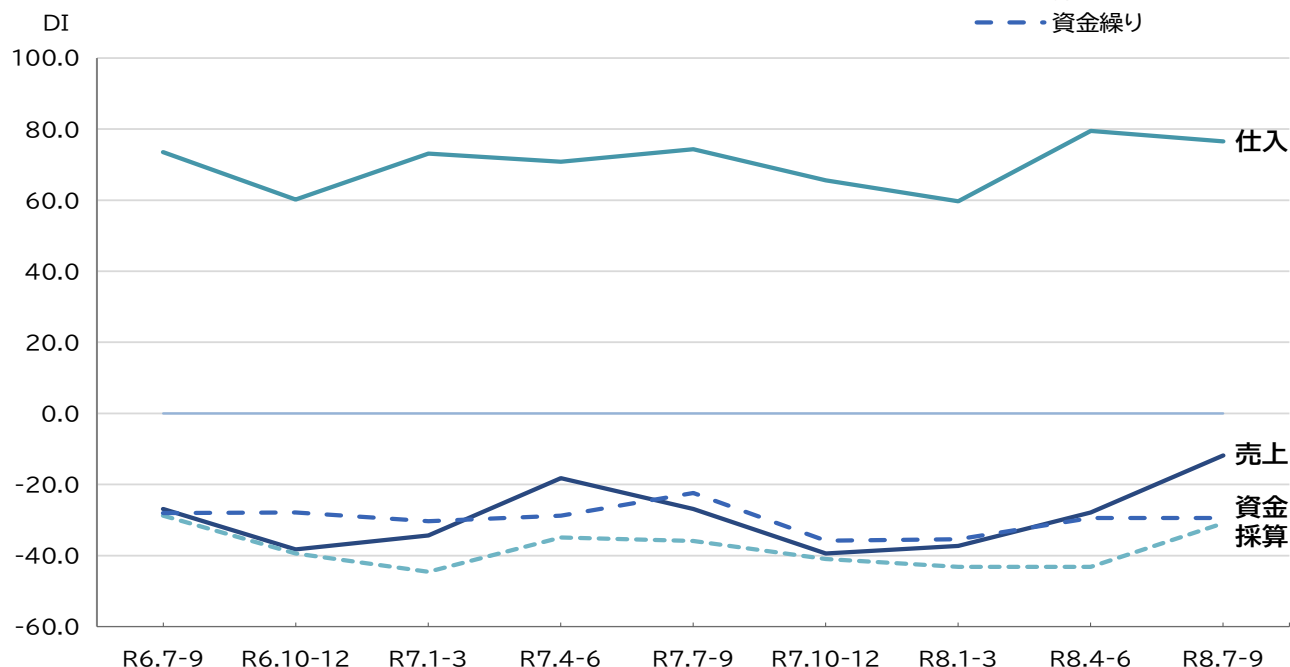
小 売 業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI		(前期)	(今期)	(来期見通し)	
主要項目	R8.4-6	R8.7-9	前期との比較	R8.10-12	今期との比較
売 上 額	-27.9	-11.8	↗	-23.5	↘
商品仕入単価	79.5	76.5	↘	73.1	↘
採 算	-43.2	-30.9	↗	-28.0	↗
資 金 繰 り	-29.4	-29.4	→	-23.6	↗

広島県 小売業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

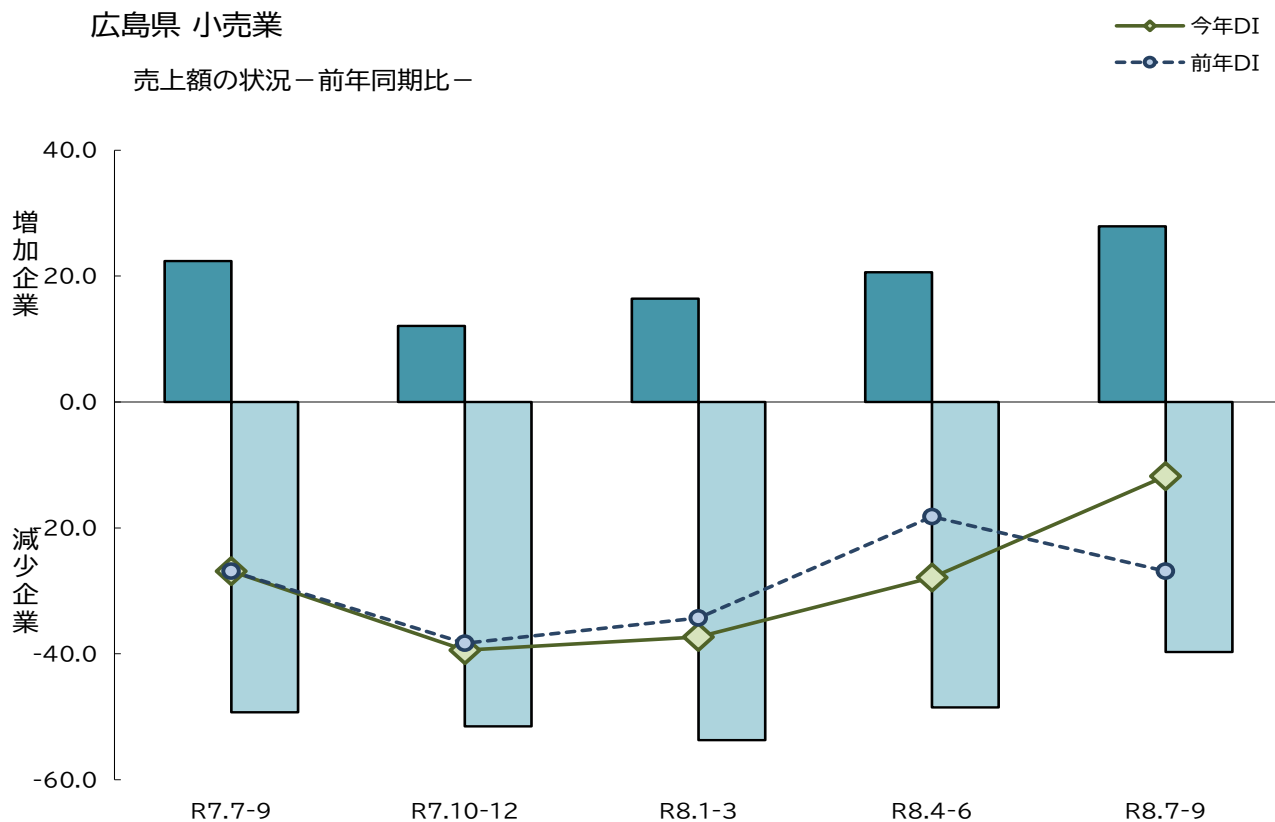
- ・ 5月に商品の値上げを行った際には消費者のみなさんにはすんなり理解してもらい売上額は上昇しました。仕入れ原価が天井知らずの現状なので大きく利益が上がるにつなげていません。
- ・ 地域人口低下による売上減少を見越して、商品（生鮮品）ロスを減らして売上増につなげるべく、飲食営業開始を計画、準備中である。
- ・ 度重なる仕入価格の上昇をその都度価格転嫁しにくい
- ・ 供給困難は一服したが、単価の高止まりの影響は残っている。経済の不安定さは変わらないので、業況が大幅に改善する事はない。大幅な赤字のため、アルバイトの雇用を止めた。状況次第で、更なる雇用止めを検討する。
- ・ 短期ごとの比較では一進一退の売上であるが、年ごとの比較をすると少しずつダウンしている。ただこの背景を検討するよりわが社の事業承継がここに至り問題化してきた。
- ・ 中東情勢の悪化により、商品の安定的供給が出来なくなり、それを知ってか消費者も買い控えの傾向にあって、一時は売上が下落してしまった。7月頃から徐々に回復しているように思う。今季後半に期待したいものだ。
- ・ 昨年より同じような商品でも1割～2割値上がりしていてお客様がその値段で買われるかが心配される。シーズン中に2回～3回来店されていたのが1回～2回になりそうで客数の減少も心配である。

小 売 業（商工会地域）

2. 売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

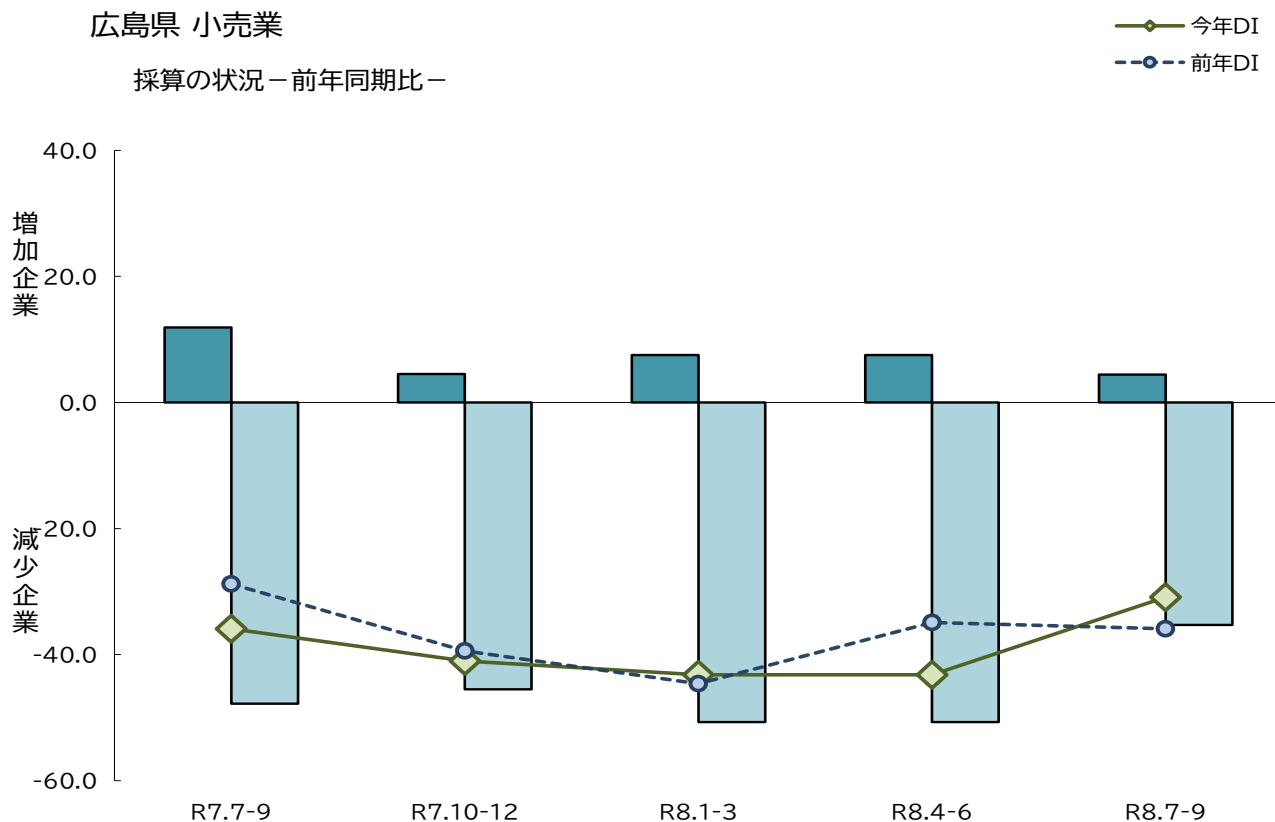
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

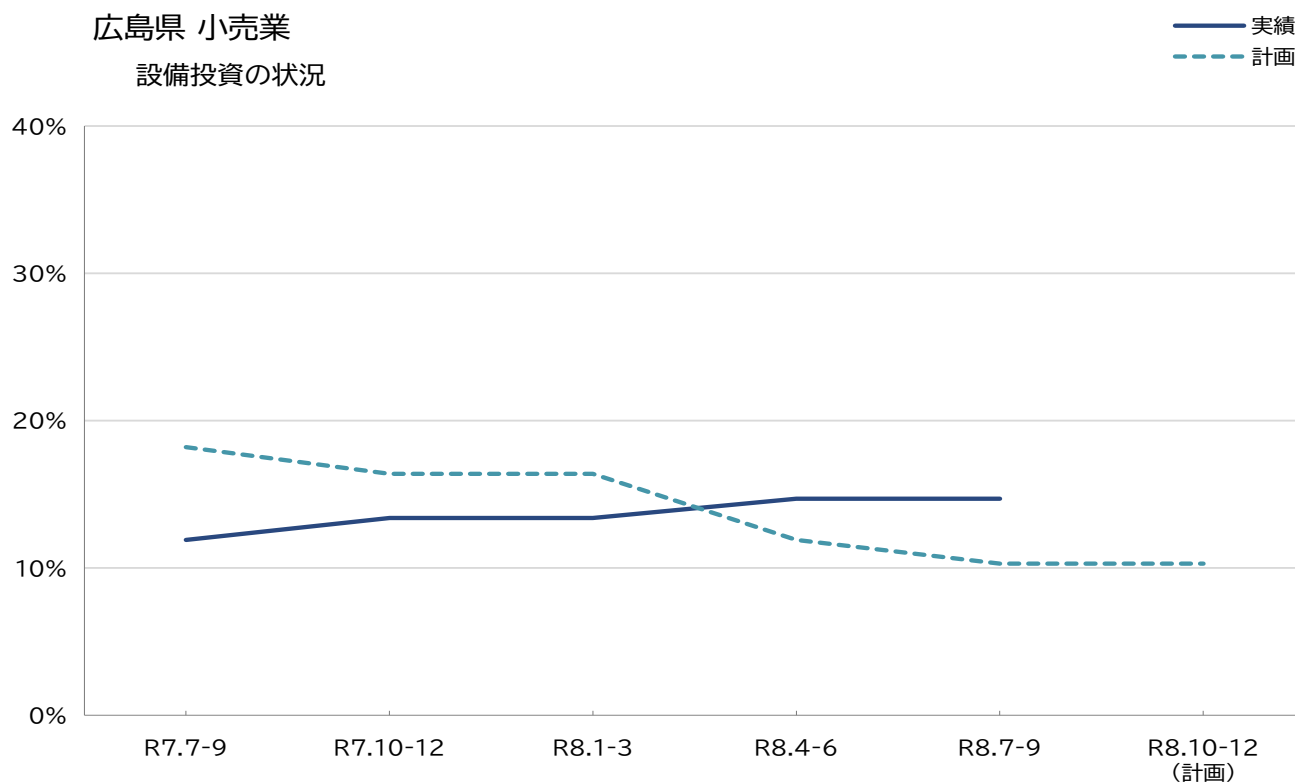
広島県 小売業

採算の状況－前年同期比－

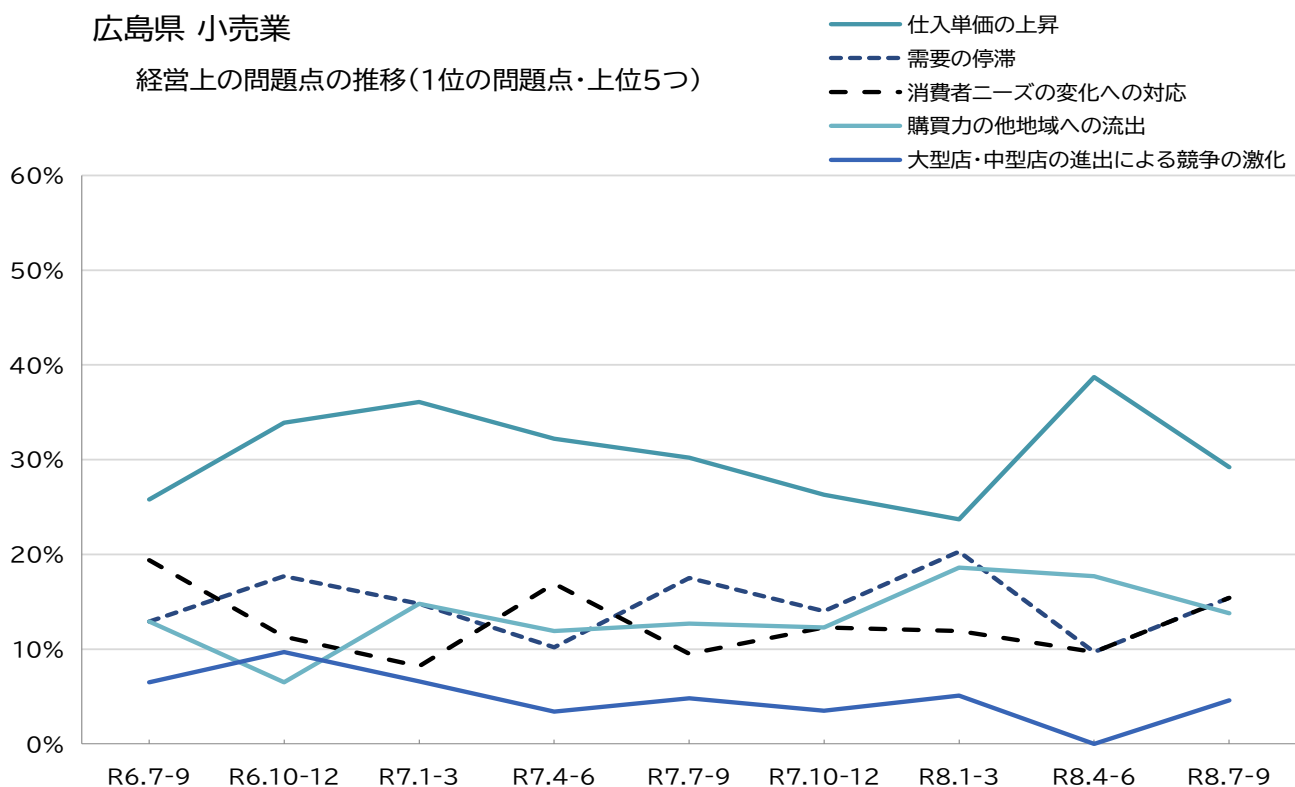


小売業（商工会地域）

4.設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



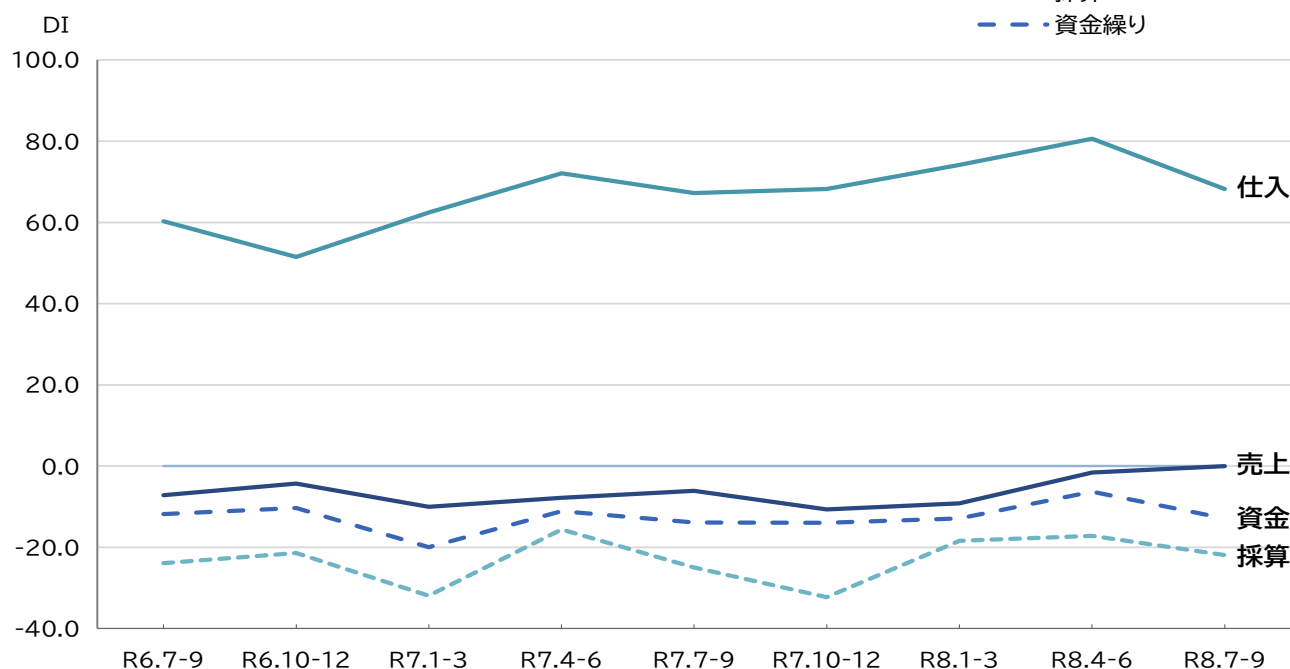
サービス業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI	(前期)	(今期)		(来期見通し)	
主要項目	R8.4-6	R8.7-9	前期との比較	R8.10-12	今期との比較
売上額	-1.6	0.0	→	-17.2	↘
材料等仕入単価	80.6	68.2	↘	60.3	↘
採算	-17.2	-21.9	↘	-25.0	↘
資金繰り	-6.3	-12.9	↘	-14.5	→

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

- ・ 物価高により利用客数の周期が伸びている、価格上昇に敏感で自社についても価格上昇を考えていかないと経営が困難である
- ・ 昨年の秋、今年の春とメニュー料金を上げました。それによって客単価も上がっていますが、夏の異常な高温、台風等不安材料はつきません。車での来店がほとんどなので、これからのガソリン価格等も心配です。
- ・ 値上がった物に対する価格転嫁は少しずつ出来ているが、お客様の消費が冷え込んでいる。消費税10%がこたえている。最低賃金は上昇しているが、当社ではなかなか上げにくい状況にある。
- ・ 利用者の高齢化で収入減少、ネット販売などの利用で商品販売も伸びづらくなっていると感じる。経費の縮小や材料の見直しをしながら日々の出費を押えるなど出来る工夫をしている。マンネリ化しない工夫が今必要だろう
- ・ 建物改修に伴い資金調達の予定があるものの金利負担が増加が見込まれ、当初予定より利益に影響を与える見込みあり。
- ・ 経費、人件費をなかなか下げることができないので、売上が上がっても儲けが出ないです。来期からさらに人件費を上げないといけなないので、商品の内容等見直しをしなければいけません。
- ・ 原材料費・人件費の高騰で価格転嫁が避けられず、人材確保も難航。来場者減少やキャンプ需要の低迷が重なり、収益確保が困難な状況。

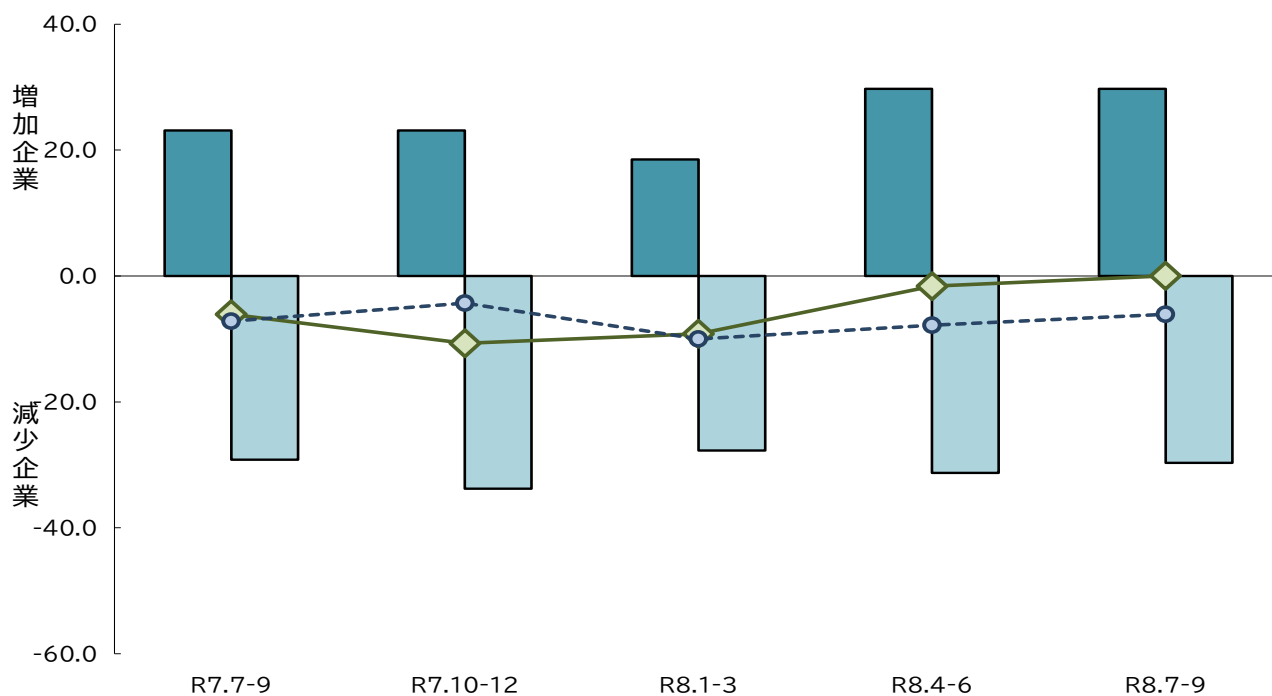
サービス業（商工会地域）

2. 売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

売上額の状況－前年同期比－

—◆— 今年DI
- - -●- 前年DI

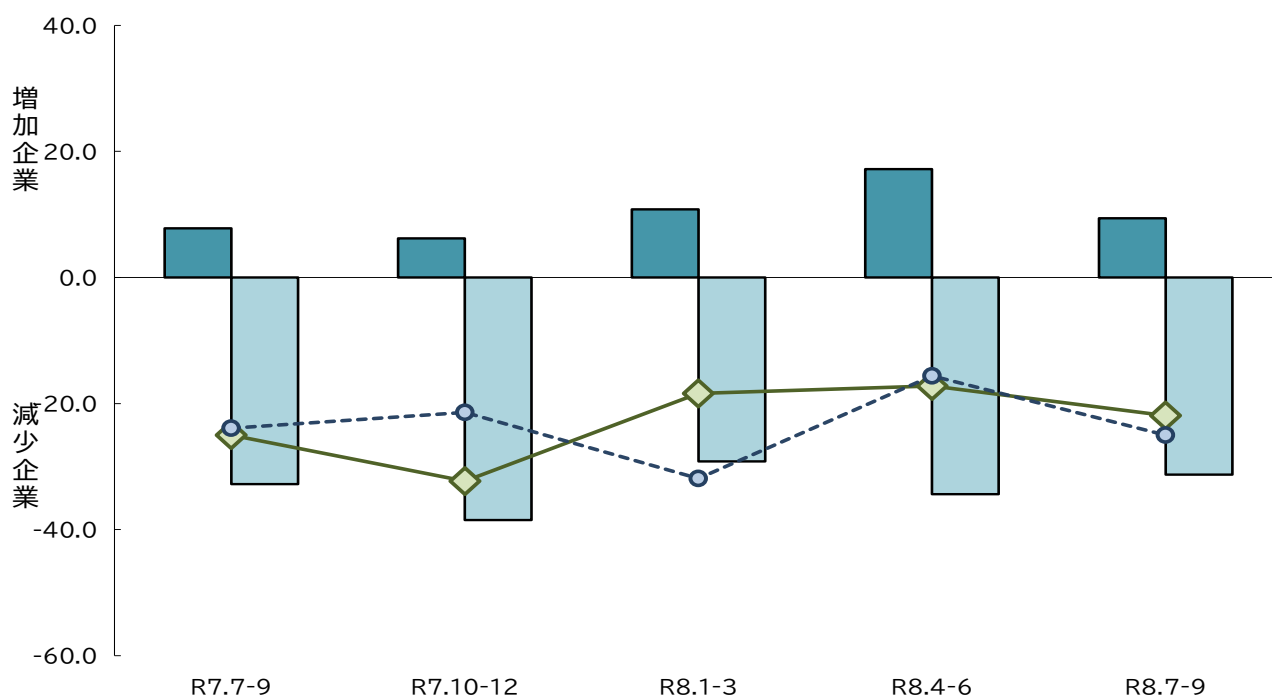


3. 採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 サービス業

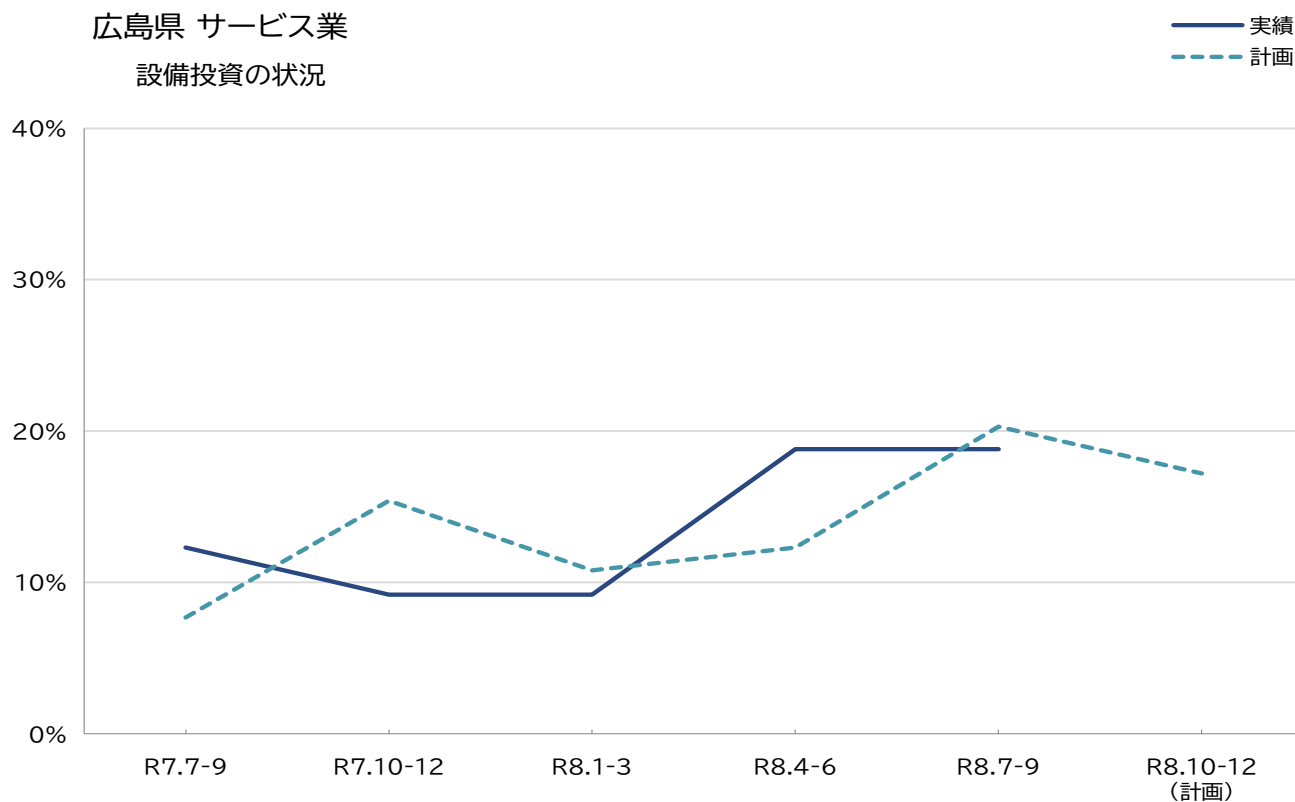
採算の状況－前年同期比－

—◆— 今年DI
- - -●- 前年DI



サービス業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

